

和泉観ボラだより 第16号 2017.3発行



〒594-0071 和泉市府中町 1-19-9 (和泉府中駅前)
和泉市いずみの国観光おもてなし処 気付「和泉観光ボランティアクラブ」
TEL : 0725-40-5552 FAX : 0725-40-5553



和泉市子ども観光大使を開催

6月11日 TOSS大阪天馬主催、TRC和泉市立和泉図書館の連携で、「和泉市子ども観光大使」を開催しました。(参加者44名うち子ども18名)

内容は①「泉井上神社・小栗街道を知ろう 見学コースの解説・予備知識・見学(当クラブ担当) ②「和泉のむかしばなし」 ③「子ども観光大使」検定 ④観光絵葉書作成 でした。

泉井上神社は、「出(い)ずる井戸の上に建つ神社」で、「いずいのうえ」が本当の読み方であること、湧き出た「和泉清水」は和泉の国の名前になったが、「泉」一文字で、「いずみ」と訓読みができるのになぜ、よまない「和」をつけたのか?などの説明をしました。鳥居の前で、一礼は神様のバリヤを通過するため、手水所の作法を練習し、参拝作法2礼1拍手1礼と境内の散策。「気」を戴くことを伝授しました。子どもたちが実践してくれたのは嬉しく感じました。後日、主催者から次のような感想文が送付されてきました。

◎歴史を知っていきたいと思います。今回はとても歴史がよくわかり、少しはものしりになれた気がします。

◎歴史はきらいだけど、昔のことがよくわかりました。いろんなことを体験して、和泉市がもっと好きになりました。

◎和泉のことをより深く知ることができてよかったです。子どもも所々知っていることが、今日のお話で、点が線につながったと思います。



泉井上神社に参拝



海外からのお客様をガイド

7月8日 韓国の旅行社からの依頼を受け、女性2名・男性6名(通訳1名含む)のガイドを実施しました。

和泉市生涯学習センター担当者の案内で、弥生の風ホールの設備・舞台・照明・音響等について説明を受け、見学者も活発な質問をされていました。

シティプラザの見学要望があり、5階の特別教室(調理室・工房)やラウンジを回り、調理室の中に案内しました。充実した調理器具設備に驚かれていました。

また工房や和室での囲碁将棋の盛況にびっくりされていました。

次の目的地、さおりの森で工房の説明を受けて、手織機の稼働を見学しました。さより独特の2枚の枠のシンプルな綜絢枠(そうこうわく)の織手に「腰が痛くなりませんか」と質問され、織手から、「従来の4枚から8枚の枠に比べれば楽だよ」との返答がなされていました。アート感覚の手織り品の仕上がりに感動されたようでした。今回見学時間に余裕がなく、さおりの森で解散となりましたが、地元農家で採れた新鮮野菜の販売所が見学できなかったことを惜まれていました。



シティプラザ調理室見学



さおり織見学

北信太界隈の名所・文化財、ガラス工場を訪ねて

9月28日「博物館・美術館巡りの会」の皆さんと、北信太界隈の熊野街道(小栗街道)周辺巡りをしました。

まずは、「葛の葉伝説」の地、葛葉稻荷神社に参拝、「姿見の井戸」や千利休の作といわれている「フクロウの灯籠」などを案内しました。今は風化してフクロウは見る事が出来ませんが、今から150年前に肥後藩の御用絵師の「道中風景図巻」に、フクロウが彫り込まれている灯籠が描かれ、当時の様子を伺うことが出来ます。

その後、貝吹山古墳、旧府神社などを見学したあと、小栗街道を案内し、西教寺で住職よりお話も聴かせていただきました。

ここは浄土真宗の五尊寺という格式の高い寺院で、本堂は文化5年(1808)に再建され、2014年に国の登録文化財に登録されました。樹齢500年と言われる境内の「西教寺のイブキ」とあわせ歴史的景観を形成しています。

佐竹ガラス工場ではガラス棒製造過程を見学し、見事なガラス工芸の技術に皆さん圧倒されていました。

各神社には、泉州路に秋を告げるだんぢり祭の献灯の提灯が飾られ、いつになく賑わっている道すがら「だんぢり」が話題になりました。「何人くらいで曳くんですか？」などの質問もあり和泉市のだんぢりに興味を示しておられました。演習でつちかった先輩サポーターとのコンビネーションの成果をフルに発揮した、新会員5期生のガイドデビューでした。又、お客様には、列の最後尾へのメンバーの気遣いや6名での対応に好感を持って頂きました。



葛葉稻荷神社で道中風景図巻見学



西教寺ご住職の解説

和泉市歴史の街歩き

11月15日「北信太駅～葛葉稻荷神社～信太の森～聖神社～平松王子跡～小栗街道を南下～信太山自衛隊駐屯地～和泉国府跡～泉井上神社～和泉府中駅」までの6kmを、「NPO法人すまいるセンター」の皆様と共に ウォーキング主体のガイドを実施しました。

前日の雨が明け方まで降り、大阪が50%以上の降雨確率の場合は中止とされており、午前7時までやきもきしましたが、40%の数値が表示され幹事様から決行の連絡が出されました。山間部では小雨が降り続いていましたが、集合地では曇り空になっておりひと安心。幹事様から当初から通り一遍のガイドは結構でウォーキングコースを時間内で案内して頂ければとの事で、ポイント毎のトイレ休憩時にガイド説明を行うべきとし、「健康づくり」を目的にされている事を聞き及んでいたため、ウォーキングと同時に脳の活性化を図るという「頭の体操」の課題をお出し、コースについてもご自身でご記入されるように地図をお渡しして進行しましたが、とにかく歩行がしっかりして速いのにはびっくりさせられました。

参加者の80歳の女性から、毎日15kmをウォーキングしているんだと聴かされ、なるほどと感心したものでした。

平均年齢70歳の健脚の皆様を無事故に約束の12時30分の5分前にガイドを完了し、「頭の体操」の回答書をお渡ししました。

参加者から、握手を求められ喜んで頂きました。



泉井上神社で記念写真

いずみの国歴史館、久保惣美術館と松尾寺

11月22日「和泉中央駅～遊歩道～桃山学院大学キャンパス通り抜け～いずみの国歴史館～裏道～久保惣美術館～松尾寺～はつがの三丁目バス停～和泉中央駅」までを「シニア自然カレッジ 久喜会」の皆様と共にガイドを実施しました。

自然カレッジの卒業生のグループとあって、自然に詳しい方々が居られ、桃山学院大学のキャンパス内の木々や野鳥については、ご説明を受ける方に回っていました。

和泉の国の歴史館から、時間を短縮することで、裏道を採用しましたが、急な階段にも平均年齢70歳とは思えない足取りで進まれるのには驚きました。

久保惣美術館での特別展「響きあう美」を会の鑑賞メインにされており学芸員の説明の後、予定の時間をオーバーし鑑賞されておられました。

その後、松尾寺までの道を足取り軽やかに進みました、丁度紅葉の時期が良く、静かな山寺とマッチした風景はお気に召されたようでした。

ご住職のご好意で、本堂の内陣は自由にゆっくりと鑑賞させて頂き、ご本尊「如意輪観音」様にお一人ずつお焼香をされました。帰りは山道をガイドし、バスの到着まで余裕をもってご案内する事ができました。

参加者の中に目に障害のある方がおられて心配しましたが、健脚で問題なく、後日、幹事様からお褒めの言葉をいただき、ガイド冥利に尽きました。



松尾寺本堂の内陣

シティプラザ図書館主催初の郷土学習会

11月23日シティプラザ図書館で開催された郷土学習会で観光ボランティアクラブのメンバーが次のような講演をしました。

観光ボランティアの目指す方向性は、歴史書等の史実紹介だけではなくクラブをご利用いただく皆さんに、小さな発見や驚き、笑いを楽しんでもいただける「物語観光」を目指しています。京都、奈良のような集客効果の高い観光地ではありませんが、今ある環境条件を活用して特色ある観光づくりを目指しています。

参加者にうんうん！とうなづいていただき増々熱が入ります。

物語観光の基本となるのが、観光地の建築物、遺跡等の観光対象に限らず、四季折々の小さな自然探しのよう、足元に咲く花、畑に咲く野菜の花、水鳥探し等の解説も織り交ぜルートの考察を図る現地ガイドを目指します。

松尾寺の楠は樹齢700年の府指定の天然記念物で樟脳の原料となります。寺には縁の深い木魚の材料としても用いられ、加工しやすく音色や香りも良く、アニメのトトロの木もこの楠の木です。などなど、様々な話題で大勢の方に興味をもっていたいただいた郷土学習会でした。



紅葉の松尾寺

池上曾根遺跡から葛葉稲荷神社ルートガイド

11月23日信太山駅から池上曾根遺跡をめぐり、葛葉稲荷神社までを「大阪府歯科保険医協会様」と共にガイドをしました。弥生文化博物館で常設展示を50分間かけて学芸員に解説していただき、タイムトンネルをくぐって展示場へ。その後、史跡公園では住居跡の花壇と環濠跡でお迎えするタイムスリップラインなど展示設計がまず目を引きました。観光ボランティアメンバーも学芸員の解説を聴いたので、連続性のあるご案内ができました。稲作技術や社会制度が豊かな生活と人口増、階層化と国創りなど今までと一味違ったガイドに聴き入っていただけたと思います。

葛の葉稲荷神社も観光ボランティアのメンバーがご案内し、江戸時代の信太森神社境内の風景に描かれた「フクロウ灯籠」と「鳥居」が現存していることが印象的でした。博物館の展示の充実が好印象につながったと感じる1日でした。



博物館で学芸員の解説



黄金塚古墳から蔭涼寺、聖神社まで史跡めぐり

12月11日「泉州大手会」の皆様と黄金塚古墳～蔭涼寺～惣ヶ池遺跡～信太の森ふるさと館～聖神社などをめぐるガイドを実施しました。

まず黄金塚古墳では参加者にタイムスリップをイメージしていただき、古墳時代にまで気持ちがさかのぼります。古墳の東の方角に生駒、金剛山脈からなだらかな和泉山脈が、さらに南から西を見ていただくと岸和田の古墳群、西の方角には和泉の弥生の部落と水田が広がっています。北の方に目を向けますと、河内平野が望まれ古墳が散見されます。そんな説明を聞きながら、邪馬台国の卑弥呼が見たかもしれない360度の景色を楽しみました。

鶴山台では、お客様で当地在住の中村氏から志保池と惣ヶ池遺跡の説明があり、私たちガイドも一緒に楽しませていただきました。



黄金塚古墳



志保池

和泉戎祭参拝記

1月11日 和泉国総社 泉井上神社に参ってきました。和泉戎祭の期間中は特別に敷地内のえびす神社が公開されています。

またこの時期可愛い巫女さんたちがおられました。

えびす神社は正月三が日と和泉戎祭りの期間の三日間のみ参詣することができます。



えびす神社



観光ガイドへのお問い合わせ先「和泉市いずみの国観光おもてなし処」

開所時間 10:00～18:00 定休日 月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始

TEL : 0725-40-5552 FAX : 0725-40-5553